



UCS サーバファームウェア、および HX Data Platform と VMware vSphere のアップグレード：複合アップグレード

- [Cisco UCS ファームウェア、HX Data Platform、および VMware vSphere ワークフローのアップグレード \(1 ページ\)](#)
- [ガイドラインと制約事項 \(2 ページ\)](#)
- [HX Connect を使用した HyperFlex Data Platform ソフトウェア、VMware ESXi、および Cisco UCS サーバファームウェアのアップグレード \(3 ページ\)](#)

Cisco UCS ファームウェア、HX Data Platform、および VMware vSphere ワークフローのアップグレード

Cisco HyperFlex の「フルスタック」アップグレードプロセスでは、次の3つのコンポーネントがアップグレードされます。

- Cisco HyperFlex データ プラットフォーム
- VMware vSphere ESXi
- Cisco UCS サーバファームウェア

シスコでは、HyperFlex Connect からのこれら3つのコンポーネントすべてを組み合わせてアップグレードすることを推奨しています。同じアップグレードワークフローで、1つ、2つ、または3つすべてのコンポーネントをアップグレードすることを選択できます。1つのアップグレードプロセスで複数のコンポーネントを組み合わせる場合は、次の手順に従います。それ以外の場合は、個々のコンポーネントのアップグレード手順について第9章を参照してください。

このセクションでは、HyperFlex Data Platform ソフトウェア、VMware ESXi、および UCS サーバファームウェアを組み合わせてアップグレードする手順について説明します。このプロセス

では、VMware vMotion を使用することで、HyperFlex ノードはワークロードを中断することなく、最適化されたローリング リブートを実行します。



- (注) HX Connect から開始されるサーバファームウェアアップグレード操作の一部として、UCS ポリシーの一部が、新しいHXDPバージョンと互換性を持つように更新される場合があります。これらの変更は、アップグレードされるクラスタの一部であるノードにのみ適用されます。ポリシーの変化を避けるために、HX Connect を使用してサーバファームウェアのアップグレードを開始することを強くお勧めします。

アップグレードタイプ	手順
HyperFlex クラスタ	以下のワークフローを参照してください。
HyperFlex Edge クラスタ	HyperFlex Edge アップグレード
HyperFlex ストレッチクラスタ	ストレッチクラスタ アップグレード
アップグレード手順の分割	HyperFlex オフラインアップグレードのワークフローと CLI アップグレード オプション

UCS ファームウェアおよび HX Data Platform をアップグレードするには、次のタスクを実行します。

- アップグレードを開始する前に [HyperFlex ソフトウェアのアップグレードの前提条件](#) を確認してください。
- 管理者権限で、HX Connect にログインしてください。
- [アップグレード (Upgrade)] ページから適切なオプションを選択します。
- 必要なファイルをアップロードし、必要なユーザー入力を完了します。

ガイドラインと制約事項

アップグレードを実行する前に、次の点を考慮してください。

- DRS が有効で、完全自動モードに設定されている場合、VM はローリング アップグレードプロセス中に他のホストに自動的に vMotion されます。



注 DRS が無効に設定されている場合は、VM に対して手動で vMotion を実行して、アップグレードプロセスを続行します。詳細については、VMware のマニュアルで、vMotion を使用した移行の説明を参照してください。

- ESXi および HXDP のダウングレードはサポートされていません。
- リリース 3.5(1a) よりも前である HyperFlex リリースを実行している場合に示すように、手動ブートストラッププロセスを実行して Cisco HX データプラットフォームをアップグレードする必要があります。これらの手順は、『サポートされていない Cisco HX リリースガイドの Cisco HyperFlex システムアップグレードガイド』で取り上げています。
- HXDP、UCS ファームウェア、および VMware ESX のソフトウェア互換性については、リリースノートを参照してください。また、ESXi をアップグレードする前に、vCenter が互換性のあるバージョンにアップグレードされていることを確認します。詳細については、Cisco HyperFlex HX シリーズ システム向けの Cisco HyperFlex HX Data Platform 推奨ソフトウェア リリース、および VMware Product Interoperability Matrices を参照してください。
- UCS Manager で使用可能なツールを使用して UCS サーバファームウェアを手動でアップグレードしないでください。HyperFlex サーバ用の UCS Manager のポリシーに対する変更は、オーケストレーションされたサーバファームウェアアップグレードプロセスによって提供されます。帯域外のファームウェア更新を手動で実行すると、これらの重要な設定の更新が失われます。
- HX4.5 のアップグレード中に SSL 証明書が再生成されるため、新しい証明書が再インポートされるまで VEEAM 統合が中断されます。

HX Connect を使用した HyperFlex Data Platform ソフトウェア、VMware ESXi、および Cisco UCS サーバファームウェアのアップグレード

始める前に

- [ソフトウェアのダウンロード] (Downloading Software) から、既存のクラスタを以前のリリースからアップグレードするための最新の Cisco HX Data Platform アップグレードバンドルをダウンロードします。
- <https://www.cisco.com/> から適切な ESXi オフライン アップグレードバンドルをダウンロードします。
- ストレージコントローラ VM でスナップショットスケジュールを無効にします。HyperFlex クラスタ IP に SSH 接続し、`stcli snapshot-schedule -disable snapshot schedule` コマンドを実行します。

ステップ 1 HX Connect にログインします。

- a) 管理者ユーザのユーザ名とパスワードを入力します。
- b) **[Login]** をクリックします。

ステップ 2 ナビゲーション ペインで、[Upgrade] を選択します。

ステップ 3 [アップグレードのタイプの選択 (Select Upgrade Type)] ページで [HX Data Platform]、[ESXi] および UCS サーバファームウェア (UCS Server Firmware)] を選択し、次のフィールドの値を入力します。

フィールド	基本的な情報
UCS Manager の接続	
UCS Manager FQDN/IP	Cisco UCS Manager FQDN または IP アドレスを入力します。たとえば、10.193.211.120 とします。
ユーザー名	Cisco UCS Manager <admin> username を入力します。
[管理パスワード (Admin Password)]	Cisco UCS Manager <admin> パスワードを入力します。
HX サーバファームウェア	
検出	[[検出 (Discover)] をクリックして、現在の UCS ファームウェア パッケージ バージョンを表示します。
(クラスタ内のノードに依存)	適切な C シリーズ ファームウェア バージョンを選択します。 オプションで、クラスタにコンピューティングのみの B シリーズ UCS ブレードがある場合は、適切な B シリーズ ファームウェア バージョンを選択します。 UCS Manager にアップロードされた C & B バンドルのみがリストに表示されます。目的のバージョンが表示されていない場合は、 UCS インフラストラクチャ ファームウェア ワークフローのアップグレード に戻ります。 互換性のあるファームウェア バージョンのみがドロップダウンリストに表示されます。目的のバージョンが表示されない場合は、HX リリースノートで HXDP とサーバファームウェア間の互換性を確認します。

(注) UI のドロップダウンに目的の UCS サーバファームウェア バージョンが表示されない場合は、[HX Connect UCS サーバファームウェア 選択ドロップダウンにファームウェア バージョン 4.1 以降がリストされていない](#)を参照してください。

ステップ 4 HyperFlex データ プラットフォーム アップグレード パッケージ (storfs-package) をアップロードします。

フィールド	基本的な情報
HX ファイルをここにドラッグするか、または [参照] をクリックします	[ソフトウェアのダウンロード - HyperFlex HX Data Platform] が取得した、以前の release.tgz パッケージファイルを使用している既存のクラスタをアップグレードするために、Cisco HyperFlex Data Platform アップグレードバンドルの最新版をアップロードします。 サンプルファイル名の形式: storfs-packages-4.5.1a-31601.tgz.
現在のバージョン	現在の HyperFlex Data Platform バージョンが表示されます。
現在のクラスタの詳細	HyperFlex バージョンおよびクラスタ アップグレード状態のような HyperFlex クラスタの詳細がリストされます。
Bundle version	アップロードされたバンドルの HyperFlex Data Platform バージョンが表示されます。
(オプション) [Checksum]	MD5 チェックサム番号は、Cisco.com Software Download セクションのファイル名の上にカーソルを合わせてホバーさせることで確認できます。 このオプションステップは、アップロードされたアップグレードパッケージバンドルの整合性を検証するのに役立ちます。

ステップ 5 ESXi オフラインアップグレードバンドルをアップロードします。

ステップ 6 vCenter ログイン情報を指定します。

フィールド	基本的な情報
ユーザー名	vCenter <admin> ユーザー名を入力します。
[管理パスワード (Admin Password)]	vCenter <admin> パスワードを入力します。

ステップ 7 [アップグレード] をクリックして、複合アップグレードプロセスの最初のステップを開始します。

ステップ 8 [アップグレードの進行状況 (Upgrade Progress)] ページの [検証画面 (Validation Screen)] に、実行中の検査の進行状況が表示されます。検証エラーがある場合は修正します。

(注) この時点で、すべてのアップグレード前のチェックと検証が、最初のアップグレード段階とともに実行されます。数分以内に HX Connect が戻り、ユーザーにアップグレードの第 2 段階を確認して開始するように求めます。両方の手順が UI で実行されるまで、アップグレードは完了しません。システムは、アップグレードの最初のステップのみが完了した状態のままにしないでください。

(注) UCS Manager でサーバを手動で確認応答しないでください。サーバが pending-ack 状態になる間、管理者が手動で介入することはできません。HyperFlex プラットフォームは、各サーバを正しい時間に自動的に確認応答します。

(注) HX 5.0(1b) の時点で、アップグレードステータスが表示され、アップグレードされたバージョン (アップグレードで選択された各コンポーネントのソースバージョンとターゲットバージョン) とともに最後のアップグレードの結果が示されます。成功した場合にのみ、このステータスを閉じることができます。最後のアップグレードが失敗した場合は、問題を修正する必要があります。このバナーは、アップグレードを修正するためのアクションを実行するためのリマインダーです。

ステップ 9 HyperFlex Connect の UI は、アップグレードの最初のステップの後に更新され、UCS および vCenter のクレデンシャルを入力してアップグレードプロセスの第 2 段階を開始するように求めるバナーがポップアップ表示されます。アップグレードページをモニタし、アップグレードが完了したことを確認します。

アップグレードが進行中の時に、「Websocket の接続が失敗しました」というメッセージが表示される場合があります。自動更新が無効になりました。エラーメッセージを消去するには、ページの表示を更新するか、ログアウトしてからログインし直します。このエラーメッセージは問題なく無視することができます。

次のタスク

アップグレードが完了したら、アップグレード後のタスクの [アップグレードが完了したことの確認](#) に進みます。アップグレードが失敗した場合は、アップグレードを再試行するか、Cisco TAC に連絡してサポートを受けてください。アップグレードの失敗後に修復なしでクラスタを実行することは推奨されません。アップグレードをできるだけ早く完全に完了するように、注意を払う必要があります。